

「常陽」利用検討委員会（第2回） 議事概要

日時：平成21年2月25日（水）13：30～16：30

場所：原子力機構・大洗 交流棟会議室

出席者：

岡委員長、河北委員、久保田委員、四竈委員、竹田委員、巽委員、二ノ方委員、
吉田委員、永田委員、廣井委員、中村委員代理（近藤委員）

原子力機構：中島理事、鈴木幹事、佐賀山幹事、此村幹事代理（高山幹事）

配付資料：

資料2-1 第1回「常陽」利用検討委員会におけるコメントへの回答

資料2-2 高速実験炉「常陽」に対するコメント

資料2-3 原子炉照射の考え方と「常陽」の役割

資料2-4 「常陽」利用検討委員会検討報告書（目次案）

議事内容：

1. 第1回「常陽」利用検討委員会におけるコメントへの回答

鈴木幹事より、資料2-1に基づき、第1回「常陽」利用検討委員会におけるコメントへの回答について説明し、了解された。以下に主なコメントを示す。

- ・人材育成や技術伝承については「もんじゅ」との役割分担があり、発電炉である「もんじゅ」は電気事業者の人材育成、「常陽」は、大学やメーカの基礎基盤技術開発に関する人材育成がターゲットとなると思われる。
- ・今後の「常陽」の利用ニーズにおいて、「プラント安全性向上」とあるが、その内容について詳細に記載したほうがよい。

2. 「常陽」の利用に関する委員からの報告

巽委員より、資料2-2に基づき、「常陽」に対するコメントについて報告があった。また、四竈委員より、資料2-3に基づき、原子炉照射の考え方と「常陽」の役割について報告があった。

3. 「常陽」利用検討委員会報告書に関する検討

事務局より、資料2-4に基づき、「常陽」利用検討委員会検討報告書（目次案）について説明した。構成についてコメントがあり、事務局で対応することとした。

4. 現場確認

「常陽」において、MARICO-2 試料部模型、MARICO-2 保持部モックアップ・モックアップ試験等を視察した。

5. その他

次回委員会は平成 21 年 3 月 17 日 (火) を候補とし、東京事務所で開催する予定とした。最終的な日程・タイムスケジュールについては、別途事務局で調整し、連絡する。

以 上